

ケアマネジメントの展開
脳血管疾患に関する事例
9:20~13:00

脳血管疾患の特徴を踏まえて
アセスメント、支援のポイントを学ぶ

9:20~9:30

- ・脳血管疾患の事例を通して
アセスメントの重要性を学ぶ
- ・紙面上の情報からリハビリテーションの
視点を学ぶ
- ・個人ワーク→グループワーク→発表
- ・各グループ自己紹介
- ・リーダーおよび発表者を決定

9:30~10:10

1、インテーク

インテーク面接のポイント

信頼関係を構築していくことができるように

- ①脳血管障害からの過程・経過・現状、説明の状況
- ②利用者・家族の混乱や不安などの心理的状況
- ③退院調整の状況、進行状況

9:30~10:10

初期面接相談時の情報収集の視点

1、個人ワーク(20分)

P128とP129を読んでP131の演習シートを行う。収集の方法は省いても…

初回で特に注意して得る情報を考える

2、グループワーク(15分)

3、発表・まとめ(5分)

9:30~10:10

例

必要な情報臨んでいく

本人は退院しても希望でお風呂に入りたい。
妻はトイレが心配



本人や妻の退院してからの生活に関する不安等をしっかりと聞いておく必要がある

理由

初めて経験する障害を持った夫との夫婦生活においてまずもって、不安を解消して新たな生活に臨んでいく気持ちになることが大切である。お互いの関係性も踏まえて本音の部分をしっかりと聞いておくことが重要である

9:30~10:10

初期面接相談時の情報収集の視点

1、個人ワーク(20分)

P128とP129を読んでP131の演習シートを行う。収集の方法は省いても…

初回で特に注意して得る情報を考える

2、グループワーク(15分)

3、発表・まとめ(5分)

9:30~10:10

初期面接相談時の情報収集の視点

- ①何故お風呂に入ることができないのだろうか
- ②移動できず心配とあるが何が一番心配なのだろうか
- ③本人の精神面はどうだろうか
- ④玄関からベッドがある居室までの導線の状況
- ⑤言語障害の詳細について
- ⑥職場復帰の可能性はどうだろうか
- ⑦家に帰って本人は何をして過ごすのだろうか
- ⑧医療面について心配なことはないのだろうか
- ⑨片麻痺の状態の詳細について
- ⑩余暇の利用についてどんなことがあるのだろうか
- ⑪家族関係と緊急時の把握についての情報

10:10~10:50

2、アセスメント

情報の収集

脳血管障害で留意すべきポイント

- 1) 疾病や健康に関する情報
 - 2) 心身機能・身体構造に関する情報
 - 3) 活動に関する情報
 - 4) 参加に関する情報
 - 5) 環境因子に関する情報
 - 6) 個人因子に関する情報
- ①②③……に書かれていることが脳血管障害の特徴

10:10~10:50

情報の整理と不足情報確認の視点

1、個人ワーク(20分)

P134~P136を読んでP133の演習シート
を行う。収集の方法は省く
補足する必要な情報を検討する

2、グループワーク(15分)

3、発表・まとめ(5分)

10:10~10:50

例

不足している情報・視点

食事行為においては、なぜこぼす？原因は口、手？頭？
なぜ柔らかかめ？嚥下障害？上下どちらか義歯？
利き手は右手？右上肢の中程度とは？最近体重減少？
意欲の問題も絡んでいるのか？好き嫌い？

理由

退院してからの栄養状態をきちんと確保していくために
どのように日々の食事を考えていったらよいか、食事の
提供者、経済的側面も考慮して考えていく必要がある
又、食事に関するリハビリテーションの計画にも大切な情
報となるため

10:10~10:50

情報の整理と不足情報確認の視点

1、個人ワーク(20分)

P134~P136を読んでP133の演習シート
を行う。収集の方法は省く
補足する必要な情報を検討する

2、グループワーク(15分)

3、発表・まとめ(5分)

10:10~10:50

情報の整理と不足情報確認の視点

- ①食事行為の実際
- ②精神面
- ③立位状況
- ④つかまり歩きの状況
- ⑤ベッドに閉じこもっているのは何故
- ⑥廊下幅の状況
- ⑦言語の理解力は
- ⑧寝室と居間の環境
- ⑨左肩の痛みは
- ⑩移動状況の内容
- ⑪再度趣味、楽しみ、やってみたいことを探る

10:50~11:00

12

休憩

11:00~11:30

情報から得られる課題を創造する

1、個人ワーク(20分)

P136を読んで、その文章・言葉から考えられることを、列挙する。

考えられることならなんでもよい

読んで頭に浮かんだこと

テキストの原因を考えるのではない

創造性も発揮して、課題を探る

2、グループワーク(15分)

3、発表・まとめ(5分)

11:00~11:30

例

健康状態

関節の痛み:左肩に軽度

なんで左肩が痛いのだろうか？右手が使えないので殆ど左手のみで行っているので痛いのだろう。

口腔衛生

自分から進んでやることはない

なぜ歯磨きしないのだろうか？歯ブラシを持たせると磨けるのに、やる気の問題？高次脳機能の障害が何かある？面倒くさがり？・・・

11:00~11:30

情報から得られる課題を創造する

1、個人ワーク(20分)

P136を読んで、その文章・言葉から考えられることを、列挙する。

考えられることならなんでもよい

読んで頭に浮かんだこと

テキストの原因を考えるのではない

創造性も発揮して、課題を探る

2、グループワーク(15分)

3、発表・まとめ(5分)

11:00～11:30

情報から得られる課題を創造する

- ①健康状態: 歩ける? 廃用の予測?
肩の痛みは何が原因?
- ②ADL: 排泄動作は自立? (移動の問題か?)
バランス能力は? トイレ内の環境は?
移動をどう考える?
- ③IADL: 外への意欲はあるのか?
閉じこもりの第一の原因は? 目標が必要か?
右手の状態がもう少し知りたい?
- ④認知: 認知面のきちんとした評価
意志疎通の程度?
コミュニケーションをどのようにしていこうか

11:30~12:10

アセスメントから課題を探る

- 1、個人ワーク(20分)
生活全般の解決すべき課題を考える
P137の右半分を仕上げる
- 2、グループワーク(15分)
- 3、発表・まとめ(5分)

11:30~12:10

例

平成23年頃(63歳)から高血圧症で加療。
平成28年に脳出血。年齢68歳
高血圧症で服薬を続けている。
現在、降圧剤を使用し、全身状態は安定している。

以上から

血圧を管理して、脳卒中の再発を防止し、全身状態が安定して、身体について不安なく生活が送れるようにしていく(していく必要がある)

11:30~12:10

アセスメントから課題を探る

- 1、個人ワーク(20分)
生活全般の解決すべき課題を考える
P137の右半分を仕上げる
- 2、グループワーク(15分)
- 3、発表・まとめ(5分)

生活全般の解決すべき課題ニーズ(大まかに書きます)

- ①高血圧を予防・管理して再発防止に努めていく必要がある
- ②閉じこもりの防止をしていく必要が
- ③廃用予防をしていく必要がある
- ④妻の介護軽減の為、本人が自立心を持つことが大切である
- ⑤本人の生活に対する不安の除去を行うこと
- ⑥右下肢の機能改善を図り移動動作を改善していく
- ⑦福祉用具の利用により移動の安定性を増していく
- ⑧閉じこもり防止のために趣味の利用にて楽しみを見出していく
- ⑨コミュニケーション能力の確認とストレスのない方法を検討していく
- ⑩身体機能の改善により排泄能力を改善していく
- ⑪ADL面の各動作をできるだけ習慣化していく
- ⑫左手の機能改善を図りよりIADLにつなげていく
- ⑬住環境の再検討を行う
- ⑭友人や外部との交流を図っていくために手順を検討する
- ⑮自分の楽しみを見出し自らが活動を行える意欲を持つ

12:10~12:20

ICFのシートの説明

12:20~12:50

演習の振り返り

グループワーク(20分)

発表(10分)

12:50~13:00

まとめ